

(23) かんしょ

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
1 黒斑病 <i>Ceratocystis fimbriata</i>	1. 無病の種いもを用いる。 2. 罹病の疑いのある種いもは、47～48℃の温湯に40分間浸漬してから伏せ込む。 3. 苗の切り取りは、いもから10cm位残して切り取る。 4. 苗は植付前に、葉が温湯にひたらないよう、基部だけ6～9cmを47～48℃の温湯に10～15分間浸漬する。  <b>〈薬剤使用の特記事項〉</b> 1. ベンレート水和剤、ベンレートT水和剤は、苗の基部を薬液に浸漬後、水洗せずに風乾してから挿苗する。	植 付 前	1 M3・1	ベンレート水和剤 (混)ベンレートT水和剤20
2 つる割病 <i>Fusarium oxysporum</i> f. sp. <i>batatas</i> <i>F. solani</i>	1. 無病種いもを用いる。 2. 無病のつるを用いる。 3. 抵抗性品種を用いる。  <b>〈薬剤使用の特記事項〉</b> 1. 消毒方法はⅢ-14. 土壌病害虫の防除の項参照。 2. ベンレート水和剤を植付前に使用する場合は、苗を薬液に浸漬後、水洗いせずに風乾してから挿苗する。	土 壌 消 毒	- - - - -	クロールピクリン ドクロクロール クロルピクリン錠剤 ガスタード微粒剤 バスアミド微粒剤
3 基腐病 <i>Diaporthe destruens</i>	1. 無病の種いもを用いる。 2. 無病のつるを用いる。 3. 圃場で使用した用具は洗浄する。 4. 排水対策に努める。 5. 発病株の早期発見に努め、発見した場合は抜き取り、圃場外で適切に処分する。 <b>〈薬剤使用の特記事項〉</b> 1. 土壌消毒方法はⅢ-14. 土壌病害虫の防除の項参照。 2. ベンレート水和剤、ベンレートT水和剤は、苗を薬液に浸漬後、水洗せずに風乾してから挿苗する。	植 付 前	1 M3・1	ベンレート水和剤 (混)ベンレートT水和剤20
		発 生 時	11 11 M1 NC・M1	アミスター20フロアブル フリントフロアブル25 ICボルドー66D (混)ジーファイン水和剤
		土 壌 消 毒	-	ガスタード微粒剤
4 アブラムシ類	1. 圃場の周辺に防虫ネットを高さ1.3mぐらいに張ったり、シルバーポリマルチ、シルバー秸秆マルチ、シルバーテープをするとアブラムシの飛来が少ない。 2. 周辺雑草を処理する。  <b>〈薬剤使用の特記事項〉</b> 1. アドマイヤー顆粒水和剤で防除しているところでは、コナジラミ類の発生が少なくなる。	育 苗 期	4A	ベストガード水溶剤
		発 生 初 期	3A 4A 4A 4A 9B	トレボン乳剤 アドマイヤー顆粒水和剤 スタークル顆粒水溶剤 ダントツ水溶剤 コルト顆粒水和剤
5 ハスモンヨトウ	1. 卵塊、幼虫集団を見つけたら摘除する。  <b>〈薬剤使用の特記事項〉</b> 1. アグロスリン水和剤はエビガラスズメにも登録がある。 2. トレボン乳剤はアブラムシ類にも登録がある。 3. アファーム乳剤はシロイチモジヨトウにも登録がある。 4. トルネードエースDFは食害防止効果は速やかに発現するが、殺虫効果は遅効的である。	発 生 初 期	1B 3A 3A 3A 5 6 6 15 15 18 22A 22A 22B 28 28 28 30 30 UN 1A・1B	エルサン乳剤 アグロスリン水和剤 トレボン乳剤 トレボン粉剤DL ディアアナSC アファーム乳剤 アニキ乳剤 アタブロン乳剤 ノーモルト乳剤 ロムダンフロアブル トルネードエースDF ファイントリムDF アクセルフロアブル プレバソソフロアブル5 フェニックス顆粒水和剤 ベネビアOD グレーシア乳剤 プロフレアSC プレオフロアブル (混)ランダイヤ粒剤

農薬の使用法や注意事項はラベルで確認する

かんしょ

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
6 ナカジロシタバ	1. 幼虫は見つけしだい捕殺する。  <b>〈薬剤使用の特記事項〉</b> 1. アグロスリン水和剤はエビガラスズメにも登録がある。 2. トレボン乳剤はアブラムシ類にも登録がある。 3. トルネードエースDFは食害防止効果は速やかに発現するが、殺虫効果は遅効的である。 4. ナカジロシタバは突発的に大発生する性質があり、大発生は8～9月頃に多い。	発 生 初 期	3A 3A 3A 15 18 22A 22A 22A 28 28 28 28 30 30 UN 1A・1B	アグロスリン水和剤 トレボン乳剤 トレボン粉剤DL ノーモルト乳剤 ロムダンフロアブル トルネードエースDF ファイントリムDF アクセルフロアブル プレバソンフロアブル5 フェニックス顆粒水和剤 ベネビアOD グレーシア乳剤 プロフレアSC プレオフロアブル (混)ランダイヤ粒剤
7 ハダニ類	1. 周辺雑草の除草に努める。 2. 乾燥させないようにする。  <b>〈薬剤使用の特記事項〉</b> 1. ハダニ類の防除しているところでは、コナラジミ類の発生が少なくなる。	発 生 初 期	6 21A 30	コロマイト乳剤 サンマイトフロアブル グレーシア乳剤
8 コナラジミ類	1. 周辺雑草の除草に努める。	発 生 初 期	4A 4A 9B 21A 30	スタークル顆粒水溶剤 アルバリン顆粒水溶剤 コルト顆粒水和剤 サンマイトフロアブル グレーシア乳剤
9 コガネムシ類幼虫	1. 有機物はできる限り完熟したものを使用し、未熟な有機物は使用しない。  <b>〈薬剤使用の特記事項〉</b> 1. ダントツ粒剤はアブラムシ類にも登録があるが、使用方法は育苗期の株元処理であることに注意する。	植 付 前  植 付 時  生 育 期	1B 1B 4A 4A 4A 4A 1A・1B 1A・1B -(生)	ダイアジノンSLゾル ラグビーMC粒剤 ダントツ粒剤 アクタラ粒剤5 アドマイヤー1粒剤 アドマイヤーイーモ粒剤 (混)ランダイヤ粒剤 (生)バイオトピア
10 ネコブセンチュウ	1. 被害株の間引きを行う。 2. 水田への転作が可能などところでは、1～2年間、畑を水田化する。  <b>〈薬剤使用の特記事項〉</b> 1. 土壌消毒方法はⅢ-14. 土壌病害虫の防除の項参照。	土 壌 消 毒  植 付 前	8B 8B 8B 8F 8F 8F 8A・8B 8A・8B 1B 1B 1B -(生)	クロールピクリン ドロクロール クロルピクリン錠剤 キルパ ガスタード微粒剤 バスアミド微粒剤 (混)ダブルストッパー (混)ソイリール ネマトリンエース粒剤 ラグビーMC粒剤 ネマキック粒剤 (生)パストリア水和剤

農薬の使用法や注意事項はラベルで確認する